

# 取扱説明書

ケース付サクシヨンフィルタ

---

---

---

---

---

---

---

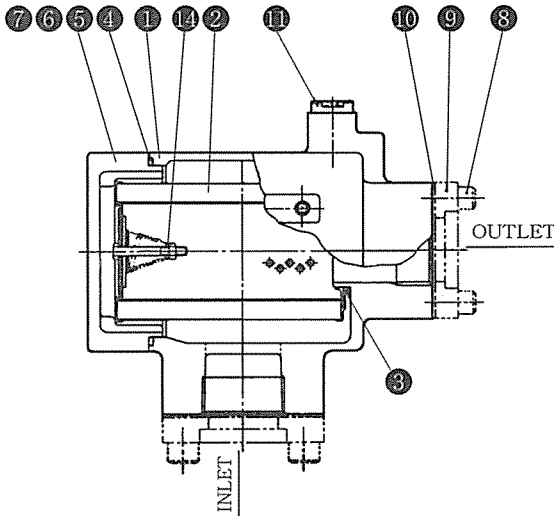
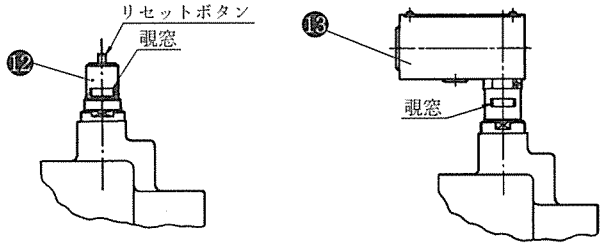
---

---

---

---

● 構造図



- |           |               |               |
|-----------|---------------|---------------|
| ① ケース     | ⑤ 六角穴付ボルト     | } (フランジタイプのみ) |
| ② エレメント   | ⑥ 相フランジ       |               |
| ③ Oリング    | ⑦ パッキン (Oリング) |               |
| ④ Oリング    | ⑧ ブランキングキャップ  |               |
| ⑤ カバー     | ⑨ 差圧表示器       |               |
| ⑥ 六角穴付ボルト | ⑩ 差圧表示スイッチ    |               |
| ⑦ 銘板      | ⑪ リリーフ弁       |               |

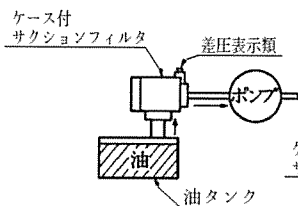
## ●取付運転方法

1. 取付けの際には、INLET, OUTLETを確認の上、接続してください。
2. 接続口径04~12の機種は、INLETとOUTLETの口径が異なりますので、御注意ください。（下表を参照してください。）

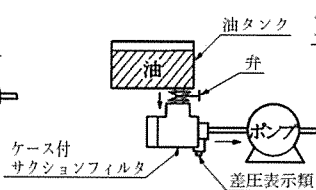
接続口径	04	06	08	10	12
INLET	1B	1B	1½B	1½B	2B
OUTLET	½B	¾B	1B	1¼B	1½B

3. 保守点検の為に、エレメントが取外せるスペースをOUTLET部の反対方向にとってください。
4. 取付けには、方向性はありませんが、下図（例2, 3）のように、油面より下に取付けの際は、油の流出を防止する為、タンクとフィルタの間に弁を設けてください。

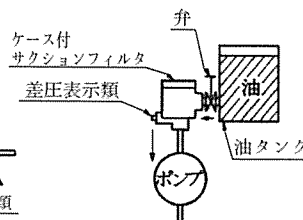
例1.  
油タンクの上



例2.  
油タンクの下



例3.  
油タンクの横



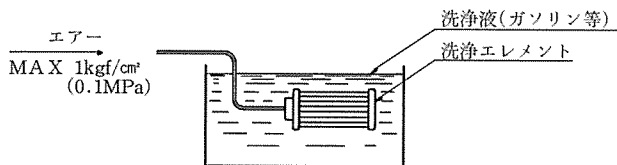
5. INLET,OUTLET接続（特にねじ込み方式の場合）には、気密保持に充分留意してください。
6. 各シール部に漏れ等のない事を確認後、本運転に入ってください。

## ●保守点検方法

運転中に差圧が180mmHgに達した時、または、差圧表示器の表示リング(赤色)が視窓全面に浮上した時、あるいは、差圧表示スイッチによる電気の信号が出された時は、運転を止め次の順序で分解しエレメントを洗浄(洗浄回復しない場合は交換)してください。尚、冬期低温時における差圧表示類の作動は、高粘度によるものが多いので正常運転に入ってから目詰りによるものかどうか、確認して下さい。差圧表示スイッチを使用し、目詰り信号を機械のシーケンス回路に組み入れる場合は、正常運転になるまで目詰り信号が作動しない様な設計を考慮願います。

## ● エレメント取外方法

1. ⑥六角穴付ボルトを緩めて⑤カバーを取外してください。
2. ②エレメントを①ケースの角部などに触れて傷を付けない様に取外してください。
3. 取外したエレメントは、超音波洗浄または、下図の様に清浄なエアを内側から吹き込んで、灯油、軽油、ガソリンなどで洗浄してください。洗浄回復しない場合は、新品と交換してください。



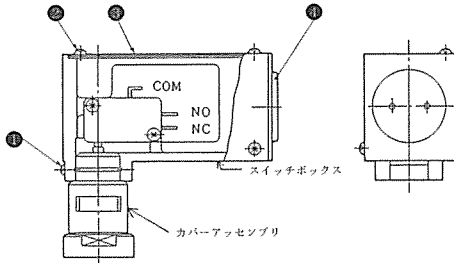
## ● エレメント取付方法

1. 各部Oリングの破損・変形・膨張・硬化等の有無を確認して、異常なものは新品と交換してください。
2. ②エレメントは、①ケースの角部などに触れて傷を付けない様に差込んでください。
3. ⑤カバーに④Oリングをセットし、①ケースに取り付けた後、⑥六角穴付ボルトにて、均等に締付けてください。
4. ⑫差圧表示器はエレメント洗浄交換後、必ずリセットしてください。尚、⑬差圧表示スイッチは、自動復帰（ノンリセット）タイプです。

## ● アクセサリ(差圧表示類)取扱方法

1. 差圧表示類の視窓部には、透明プラスチックが使用されておりますので、有機溶剤等の付着及びスパナ等による打痕傷をつけないよう十分注意してください。
2. 差圧表示類は、調整してありますので分解しないでください。

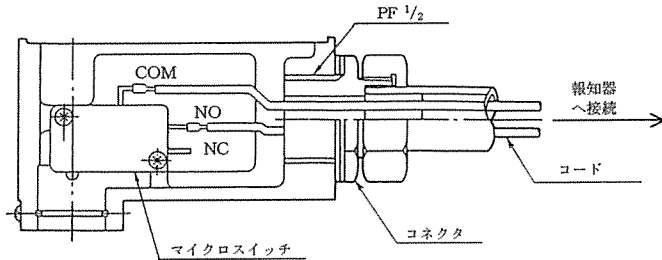
## ●差圧表示スイッチの電気配線方法



- ① 十字穴付小ねじ
- ② 十字穴付小ねじ
- ③ ボックス用カバー（ガスケット付）
- ④ コード用ゴムプラグ

第1図

1. 第1図に示す①十字穴付小ねじ（2コ）を緩めて、スイッチボックスを上へ引き抜いてください。
2. スwitchボックスの②十字穴付小ねじ（4コ）を外して、③ボックス用カバーを取外してください。



第2図 NO(常時開)接続例

3. ④コード用ゴムプラグを取外し、次の要領で配線を行なってください。
  - 3-1 第2図の様にコネクタ等を用いて、マイクロスイッチのねじ締端子に任意(NO,NC)に接続してください。(NC配線をする場合は、⑤ボリ栓を取外して接続してください。)尚、配線には必ず圧着端子を使用してください。作業が終了次第③ボックス用カバーを②十字穴付小ねじ（4コ）で締付けて取付けてください。(NC配線をした場合は、⑤ボリ栓も取付けてください。)
  - 3-2 接続するコードは、フィルタ分解組立に際して支障のない余裕のある長さにしてください。
  - 3-3 スwitchボックスをカバーアセンブリの上部に隙間がなくなる迄差し込み任意に方向を決め①十字穴付小ねじ（2コ）を締付けて固定してください。

**SMC株式会社**

URL <http://www.smcworld.com>

お客様技術相談窓口

フリーダイヤル ☎ **0120-837-838**  
受付時間 9:00～17:00 [月～金曜日]

代理店

④ この内容は予告なしに変更する場合がありますので、あらかじめご了承ください。

© 2008 SMC Corporation All Rights Reserved